



広報 ごじょうめ

発行／五城目町役場

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100 代 印刷／五城目印刷

有リン合成洗剤を
追放しましょう

きれいな川や海を
守るために



バンガローなどの設備が整っている森山キャンプ場



(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

森山森林公園は、森山を中心とした山ろく一帯に広がっており、その面積は二二六ヘクタールにも及びます。

公園の一面、森山の東側すそ野にキャンプ場があります。バンガロー十棟、炊事場、トイレなどが設置されており、キャンプに必要な設備が整っています。また、公園入口に建てられた管理棟で、テントを借りることもできます。

園内は遊歩道が整備されており、キャンプをしながらハイキングやオリエンテーリング、山頂への朝起き登山なども楽しむことができます。

夏休みの期間は、町外からの利用者も多く、キャンプ場は子供たちの歓声でいっぱいになります。子供たちが自然に溶け込んで、学校や家庭では得られない、いろいろなことを学べる野外施設です。

森山キャンプ場

ふるさと散歩

昭和59年

9月1日

(毎月1日・15日発行)

No. 499

第16回全町体育祭 九日、五小グラウンドで開催

第十六回五城目町全町体育祭が、九月九日（日）、五城目小学校グラウンドで行われます。

当日、午前六時と七時にノロシを打ち上げて体育祭の開催を町内のみならずにお知らせします。開会式は、午前九時半からの入場行進で始まりますので、参加者は午前九時までに集合してください。

雨天の場合は、九月十五日（土）の敬老の日延期されます。

体育祭の成績順位は、各町内会の得点で決まりますが、三十戸未満の町内会には隣接する町内会と合同で参加することが出来ます。採点は、競技種目が百二十点満点、特別種目は入場参加状況三十点、応援二十点、仮装十点の六十点満点となっています。

五城目町の町民であれば、だれでも競技に出場することが出来ますが、必ず居住する町内会からの出場であれば、町内会からの出場であれば、いけません。また、一人でも多くの人が参加していただくため、選手は一人一種目に制限されています。ただし、年齢別リレーは例外となっています。

競技に出場する選手は次の点に注意してください。

- ・スパイクは使用できません。
- ・選手の年齢は、九月一日現在の満年齢で数えます。



敬老式 バスで送迎します

町の敬老式は九月七日（金）午後一時から広域体育館で行われます。敬老対象者は七十歳以上のお年寄りとなっています。

町では当日、バス十五台と庁用車一台を運行して、参加者の送迎にあたります。バスと庁用車の運行は次のとおりです。帰りのバスは全車とも午後三時半に広域体育館前からです。

▽1号車
広ヶ野伊藤商店前（11・45）
加賀谷石材店前（11・50）
山田精肉店前（11・55）
小浜印刷所前（12・00）
小浜薬局前（12・05）
佐藤美容院前（12・10）

▽2号車
野田神社前（11・45）
高校

各町内会の控所は、体育祭前日の夕方までに、町が立札を立てて区分しておきますので、それに従ってください。

また、ゴミ袋を各町内会に配付しますので、自分のゴミは自分で持ち帰るようにしてください。

トイレは、小学校体育館のトイレを使用できますが、屋外トイレを二カ所に設置します。

駐車場は次の四カ所となっていますが、会場の近くの人には車の利用を控えてください。当日、交通指導隊員や係員が駐車場の整理にあたりますので、その指示に従ってください。

①五城目小学校校庭
②山加建設駐車場
③消防署隣の駐車場
④畑沢医院駐車場

▽3号車
入口バス停留所（11・55）
農協前（12・00）
長栄堂前（12・05）
北嶋石油店横（12・10）

▽4号車
神明社前（12・00）
郵便局前（12・05）
武石自転車店前（12・10）

▽5号車
秋山タンス店前（12・05）
貝田呉服店前（12・10）

▽6号車
老人ホーム森山荘前（12・00）
中川原バス停留所（12・05）
坂谷商店前（12・10）

▽7号車
千日バス停留所（11・00）
高田バス停留所（11・05）
高樋バス停留所（11・20）
落合バス停留所（11・30）
脇村バス停留所（11・40）
台バス停留所（11・50）

▽8号車
北ノ又金沢良蔵宅前（11・05）
杉沢バス停留所（11・20）
恋地バス停留所（11・30）
水沢バス停留所（11・40）
平ノ下バス停留所（11・45）
小野台バス停留所（11・50）

▽9号車
中村バス停留所（11・40）
蓬内バス停留所（11・45）
町村バス停留所（11・50）

▽10号車
大繁バス停留所（11・20）
小川口バス停留所（11・30）

▽11号車
湯ノ又バス停留所（11・30）
黒土バス停留所（11・35）

▽12号車
大川バス停留所（11・45）

▽13号車
大川改善センター前（11・25）
石崎バス停留所（11・30）
谷地中バス停留所（11・35）
西野バス停留所（11・45）

▽14号車
浦横町バス停留所（11・30）
岡本バス停留所（11・40）

▽15号車
八田バス停留所（11・30）
大手バス停留所（11・35）
上山内バス停留所（11・40）
下山内バス停留所（11・50）

▽福祉バス
帝釈寺バス停留所（11・40）
館越バス停留所（11・50）
高崎バス停留所（11・55）

▽庁用車
小倉公民館前（11・40）

※（ ）内は通過予定時刻

教育振興大会で講演

第五回月例文化経済懇話会を兼ねて

第二十一回五城目町教育振興大会が、九月十四日（金）午後一時から町民センターで開催されます。

大会では、岩手医科大学医学部口腔衛生学教室主任教授の片山剛氏が、「健康な歯づくり」と題して講演を行います。

この講演は一般の方々も聴講できますので、多数参加してください。

9月16日

全町クリーンアップ 10団体が中心になって

全町クリーンアップが、九月十六日(日)午前五時から七時まで行われます。

このクリーンアップは、婦人会、若妻会、老人クラブ、ローターアクト、商工会青年部、農近ゼミ、農協青年部、農協婦人部、農協若妻部、青年会の町内十団体の呼びかけで行われ、環境美化に対する意識の高揚をはかると同時に、住民総参加のもとに友情と連帯の輪を広げ、住みよい地域づくりを押し進めようというものです。

今年、より一層、意識の高揚をはかるため、育成会な

どもにも働きかけ子供たちの参加もお願いしています。

実施場所は、各部落・町内の幹線道路や主要河川となっていますが、地区の青年会が中心となり各地域ごとに話し合って決めることにしています。

このクリーンアップには町の協力もあり、関係団体では町内のみなさんの積極的な協力と参加を期待しています。なお地区青年会の連絡先は次のとおりです。

▽五城目地区

佐藤 清彦(田町)

52-3175

▽馬川地区

猿田 文男(上樋口)

52-3594

▽内川地区

千葉与右エ門(小倉)

52-9692

▽森山地区

工藤 隆(野田)

52-9202

▽富津内地区

原田 功輝(富田)

52-2226

▽馬場目地区

伊藤 聡(町村)

52-9677

▽杉沢地区

伊藤 成美(坊井地)

53-2188

▽大川地区

小玉 静夫(西野)

52-9254

燃えるゴミと燃えないゴミの分別をしつかりと

町では、清掃センターでゴミを処理するようになってから、燃えるゴミと燃えないゴミを分けて収集しています。

ゴミの分別収集には、町内のみなさんから大変ご協力をいただき、町では感謝しておりますが、まだ混合したゴミを出している家庭が見うけられます。

分別していないゴミを清掃センターで処理しますと、機械の損耗が激しく、故障や時

には大きな事故の原因にもなりますので、分別は完全に行ってください。

また、残飯など水分を含んだゴミは、水切りを十分に行ってから出してください。ゴミの中に水分が多いと、腐敗が早く、消臭剤などの薬品を多量に散布しても、あまり効果がありません。さらに煙突から出る煙にもおうよう

残飯類の水切りを十分に

秋の落書 27

畠山 鶴松

明治当時の病人について

五城目または秋田まで

迎人



秋田の医者へ

荷籠



五城目の医者へ
(病人でも)

風呂敷包

その当時は病人になると、ほとんど漢方薬を用いたようで、重病入でないと医者へ行くものでなかった。

五城目の医者は、根田、三浦、落合、笹尾の四人で、今のように忙しくはなかったようだ。特に重病入の場合は秋田に連れて行ったもので、秋田の医者に行くと言うと、もうだめだように思われ、生と死との境目の覚悟であった。親子から一人前の人が十人くらい付きそい、戸板に乘せ交代交代で秋田までかついで行くもので、みじめなものであった。

腹痛とか歩けない病人は敷布団を棒に巻き、病人を腰かけさせおんぶし医者へ行った。

応診と言え、何軒もの医者を頼みに歩いて了解を得れば車夫を頼んで来て、それから医者が来てくれるものであった。

寒中の夜のことであった。病人は危篤状態で医者を迎えに行ったが、なかなか起きてくれず、一時間も待ってから車夫を呼んで来てくれと言われた。車舎に行ったら俺の番でないから某を呼んでこいと言われ家に迎えに行ったが、これもなかなか起きてくれず、大変手間どったことがあった。

冬の医者の送迎は、箱ざりて、車夫はその前に縄をつけ、肩に掛けて走り、迎人は二人で夢中で汗みどろで押し走ったものだ。当時の不便であったこと、難儀痛める病人の辛さが思い出に残っている。

健康な歯づくり体験作文

特選7点・入選20点決まる

親と子の健康な歯づくりについての体験作文の審査会が、七月三十日行われ、特選七点、入選二十点が決まりました。この体験作文は、五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会が、むし歯予防啓発推進事業・健康な歯づくり運動の一環として、町内の小中学生や一般から募集していたものです。小中学生から四十三点、一般から三十八点の応募がありました。

同委員会では、文集を作成して町内のみなさんに作品を紹介する計画です。

▽小学校の部特選

歯と健康
(五城目六年) 桜田瑞子
ミュータンスをやっつけろ
(内川四年) 阿部由佳

▽同入選
ぼくにはむし歯がないよ
(大川一年) さとうしゅんすけ
たいせつな歯

特選
歯と健康
五城目小学校六年 桜田瑞子

「ミュータンスきんって、とっても可愛い歯のばいきんよ」おねえさんは、本のページをめくりながら説明してくれた。去年の秋のことだった。わたしと妹が、親せきの家へ遊びに行った時のことである。歯医者さんで、仕事をしたことのあるおねえさんは、わたしたちに、歯の写真入りの分厚い本を見せてくれた。そして、むし歯の予防について教えてくれた。おねえさんにはむし歯がないという。食事の

(五城目五年) 高堂尚子
歯の治りよう

(五城目六年) 菊地得弥
歯みがきさわやか

(五城目六年) 渡辺美奈子
▽中学校の部入選

ひどいすね
(五城目第一・二年) 伊藤圭子

今と昔そして虫歯とは？
(五城目第一・二年) 小玉可奈子

虫歯
(五城目第一・二年) 本間里美

虫歯のないきれいな歯に
(五城目第一・二年) 坂本由美子

▽一般の部特選
親と子の健康な歯づくり運動
に関する体験

(馬場目) 青山たい子
祖母の思い出を娘に
(五城目) 高堂史子

歯みがきと私

むし歯になっても、歯医者さんに行かないで、反対がわの歯だけを使っていると、顔の形が変わってしまうそう。それに、むし歯があると、食べ物をよくかむことができないので病気の原因にもなってしまう。歯は、わたしたちの健康も支えているのだと思うた。

おねえさんが本を閉じた。そして、わたしと妹にひとつずつ真つ赤な薬をくれた。ミュータンスきんを見つめる葉なのだ。薬を口の中へ入れ、ガムのようにかんでみた。すると、歯の所々が赤い色でそ

(馬場目) 石井敏雄
わが家の歯みがき対策

(馬場目) 小玉洋子
一枚の表彰状から
(富津内) 伊藤イホ子

▽同入選
歯への思いやり
(五城目) 渡辺章子

子供の歯、私の歯
(五城目) 和田幾代

健康な歯に感謝
(馬場目) 石川昭一

歯にまつわるエピソード
(馬場目) 草皆芳子

親と子の健康な歯づくり
(富津内) 伊藤邦子

健康な歯づくりのために継続して実施していること
(富津内) 石川ケイ子

ムシバロ、まち子の歯
(内川) 畑沢エリ子

わが子の歯に思う
(大川) 佐藤澄江

まっていた。わたしはびっくりした。歯みがきをまじめにやらなかったことをはずかしく思い、赤い色がとれるまで、いっしょうけんめいみがいた。ミュータンスきんは、かみくだかれた食物が歯について残り、そこで活動することが分かった。だから、食事のあとには必ず歯みがきすること、おねえさんが言うのと、妹はこまいったような顔をしてうなずいていた。

ピカピカ光る白い歯は、健康のシンボルだと思う。わたしは、家族で、なまけずに歯みがきをしたいたいと思っている。

歯の健康シリーズ

No.11

おやつ工夫 2

▼三度の食事の内容の充実を

食事をおろそかにすると、空腹のため、おやつ回数が増え、さらにそれが原因で、かんじんの食事の時には、おなかがすいていないということになります。これをくりかえすうちに栄養のバランスがくずれ、次第に歯だけではなく全身をむしばんでいきます。

砂糖の取りすぎに注意
むし歯の原因は、糖分の取りすぎに注意
砂糖の取りすぎは歯はもちろんのこと、全身にも悪影響を与えます。
・ビタミンB1の不足がおこり、疲れやすく無気力になったりします。
・カルシウム不足がおこり、骨や歯が弱くなったり、イライラしておこりっぱくおちつきがなくなったりします。
・肥満になり、さらには成人病の心配も出てくるようになります。
おやつから取る砂糖の適量は一日二十グラムくらいですが、サイダー一本に四十グラム、缶ジュース一本に二十五グラムも含まれています。よく飲料水を箱で買って置いて、子供に自由に飲ませたり、食事の時に飲んだりという人がおられますが、まるで「病気になる薬」を与えているようなものです。水分を欲しがる時は、水、牛乳、お茶、甘味のない生ジュースなどを飲むようにしましょう。

ある小学生の1日のおやつ



五城目町親と子の健康な
歯づくり運動推進委員会
養護部会

特選

ミュージタンスをやっつけろ

内川小学校四年 阿部 由佳

「ギリギリギリ」

むし歯をけずるヤスリの音です。むし歯になって一番いやなのはこのときです。

歯医者に行く前から心配で「おかあさんむし歯の歯ぬくの」と聞くと、おかあさんは「ぬくかもしれないよ」と、わたしをおどろかせます。わたしは、本気にして足ががたがたふるえます。

歯医者さんに行き待合室で待っていると、わたしの番がきました。わたしは、いつもと同じいすでないとこわいので、かならず同じ場所ですります。

ヤスリの音がなると、わたしは口を大きくあけます。つばがたまってきたまんじであけています。ちりようが終るとほっとして心がかかるくなるような気がしました。ちりようした所にしたをやってみると、あながあいていました。おかあさんにきいてみ

家畜の衛生

繁殖障害は、直接生死に関わるものではありませんが、経営上、早期発見、早期治療が必要です。

毎月、獣医師が定期的に巡回指導を行っています。次のような障害が発生したら、農政課へ連絡し検診を受けてく

ると、「ヤスリでむし歯をけずったんだよ」といいました。

次の日、歯をみがいていたら歯ブラシが歯にあたって歯が動きました。「ど、どうしよう」わたしは歯が動くやうになっていつもの元気がでないのです。習字のときも、いつも、おしゃべりばかりしていた自分も、なんだか別の人になったように、しずかにしています。思いきって動かし

てみました。「じくじく」といたみます。それでもがまんしてやっとりました。わたしは、一年生のころむし歯が四本もありました。そのころ学校でミュージタンスの本を読みました。一年生だったので、ミュージタンスというのは大きな虫で口の中にたくさんいるのだと思いました。

だからむし歯が一本もないお兄さんがとてもうらやましかったのです。三年生になって朝ばんちゃん

ださい。①八〜十カ月齢から発情徴候を示していたのに、授精適期の十四カ月齢ころになっ

繁殖障害牛のチェック基準

② たら発情が弱くなった。
③ 十四〜十六カ月齢になって
も発情が不明瞭、あるいは
微弱で授精できない。

んとみがくようになりました。むし歯も二本にへりました。ときどき「ミュージタンスでいいけ」と一人ごとを言いながらみがいていました。「口の

中にへんなミュージタンスがいたらきかないな。ミュージタンスは、あまい物のみかただからあまい物を食べなければいいんだよね」と自分にいいかせました。

歯ブラシのコマーシャルで、ミュージタンスと歯ブラシが出てきて、歯ブラシがミュージタンスをやっつけている場面も見ました。

それでむし歯をなくすのは、歯みがきをていねいにするこ

とが一番だと思っていっしょうけんめいみがくようにしました。四年生になって歯のけんさをしました。ほけん室へ行

て見るとポスターがありまし

た。ぱっと見たらぎん色のおりがみをまるくきった中に「阿部由佳」と書いてありまし

でした。むし歯が一本もないなんて思っていなかったの

審査評
内川小学校教頭
本間 米吉

小学生・中学生・一般の方々から約八十点の体験文をおよせいただきました。

小・中学生は、小・中学生なりに自分の体験をこまかく生き生きとつづられておりま

した。また、一般の方々は歯にかかわる体験を意欲的に述べられ、子そだての苦労に心うた

れました。これらの体験文がたくさんの方々の目にふれ、この運動の輪が広がっていくことを期待しております。

④ 分産後三十日を過ぎても汚れた粘液や、おりものを排

⑤ 分産後五十日を過ぎても発情が不明瞭か微弱。

⑥ 分産後四十〜八十日の間に

彫刻の大作に取り組む
恋地山荘に宿泊して



制作に余念の無い会員たち

秋田県彫刻連盟の会員七人が、八月五日から十二日まで恋地山荘に宿泊して、今秋、東京上野で開かれる展覧会に出品する彫刻の制作を行いました。

秋田県彫刻シンポジウムと名付けられたこの集りは、毎年、県内の各地を会場に開かれており、制作技術を交換し、道具や作品などについて知識を深めようというものです。参加者たちは、スキー場の一面にテントを張って作業場を造り、朝の五時から大作に取り組んでいました。

このシンポジウムの実行委員長であり、また県彫刻連盟の会長でもある渡辺昭次さんは本町出身で、次のように話していました。

「私の父が五城目町で教師をしていたこともあり、今回、恋地山荘を利用して、シンポジウムを開きました。大変立派な施設で、また周囲の環境もよく、このような集りを開くには最適だと思います。また、彫刻の素材となる木材も町内で手に入ると聞いていますので、来年も五城目町で開きたいと考えています」

カメラレポート



手造りイカダで川下り

五城目橋から竜馬橋まで

手造りイカダによる馬場目川の川下り大会が、8月19日、本町と八郎潟町の商工会青年部の企画で開かれました。

スタート地点の五城目橋の下にはいろいろな形のイカダ12隻が集合し、ゴールの竜馬橋を目指しました。しかし、連日の晴天で馬場目川の水量が少なく、参加者たちはイカダを押したり、持ち上げたり悪戦苦闘、一着のイカダでも1時間20分もかかりました。



五城目橋をスタートする手造りイカダ



父兄も参加して行われました

庁舎前でラジオ体操

磯ノ目地区の子供たち

夏休み期間、町内の広場や公園などで毎朝、小学生たちのラジオ体操が見られました。

東磯ノ目町と西磯ノ目町では、同町内に適当な広場がないため、役場庁舎前でラジオ体操を行いました。子供たちは玄関前に並んで、携帯ラジオから流れる号令に合わせて、元気に体を動かしていました。

お知らせ

野菜づくりコンクール

参加者は農政課へ

五城目町農業指導センターでは、自給野菜栽培を活用した健康で豊かな農家生活を目指して、野菜づくりコンクールを行い、入賞者を産業文化祭で表彰します。

▽応募資格

・野菜栽培面積が一アール以上あること

・ホーレンソール、ブロッコリーなど緑黄色（有色）野菜が二種類以上であること

▽応募方法

役場農政課で用意してあります応募用紙に住所、氏名、野菜の種類、野菜栽培地を記載して申し込むこと

締め切り 九月二十日

問い合わせ・申し込み先

役場農政課 52-2100
農協営農課 52-4321

コミュニティ・カレッジ

受講生を募集

秋田県コミュニティ・カレッジでは、受講生を募集しています。



9月 がん征圧月間

コミュニティ・カレッジは心の豊かさを求める社会人のための大学で、だれでも気軽に学習できるしくみになっています。

詳しい内容を知りたい方は次のところにおたずねください。

▽問い合わせ先

秋田県生涯教育センター

秋田市山王中島町一〇一

電話 65-1171

募集期限 九月二十日

漫画をお寄せください

対象は六十歳以上の方

五城目町老人ボランティア互助会（代表・佐藤久之助）では、第一回高齢者漫画コンクールの作品を募集しています。

作品の題材は自由ですが、卑わいなものや、個人の人權に関するもの、特定の個人を風刺したもの、盗作は審査から除外されます。作品は恋地山荘に展示し、観覧者の投票で審査されます。

▽応募資格

六十歳以上

▽応募方法

半紙以内の大きさの用紙を使用し、住所、氏名、年齢、性別、所属老人クラブ名、電話番号を明記すること。

募集締め切り 九月二十日

▽作品の送り先

一番町川端会館内

五城目町老人ボランティア互助会

町から成人証書と記念品

新成人198人が参加

新成人を祝う若人たちのつどい（成人式）は、8月15日、広域体育館で行われ、参加した新成人198人に町から成人証書と記念品が贈られました。

式典に先立ち、新成人たちは、二つのコースに分かれてバスで“ふるさとめぐり”を楽しみました。その後、雀館運動公園古代井戸跡そばで記念植樹を行い、代表4人が白樺2本を植え付けました。

式典では畑沢聖悟さん（湯ノ又）と伊藤晃子さん（東磯ノ目町）が、成人になった感想と五城目町について、意見を発表しました。また、嶋崎徳之さん（大川）と佐藤まゆみさん（中村）が、新成人誓いのことばを読みあげました。

今年度の町内の新成人は、男137人、女119人。



色とりどりの風せんが青空に舞い上がる

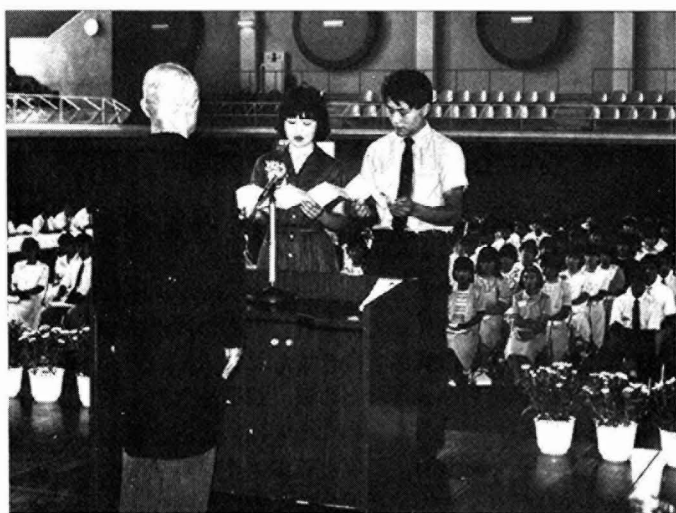
メッセージを風せん

第14回子どもの祭典

第14回子どもの祭典は、8月9日午後3時30分から、町内の小学校5、6年生、中学生を対象に、五城目小学校グラウンドで行われました。

今年は、例年の自由コーナー、ジャンケン大会、綱引きなどのほか風せんメッセージも行われ、子供たちのメッセージを付けた風せんが、思い思いの夢をのせて大空に舞い上がりました。

また、山内番楽の実演や子供たちによるキャンプファイヤーが行われた後、すっかり町の名物となった恒例の花火が打ち上げられ、会場に集まった町内の人たちや子供たちが魅了しました。



誓いのことばを読みあげる嶋崎さん（左）と佐藤さん

お知らせ

防火管理者講習会

受講者は申し込みを

防火管理者に必要な知識と技術を学ぶ講習会が、次の内容で行われ、全科目を修了した方には、修了証が交付されます。

受講を希望する方は、消防署（電話52-2028）で用意してあります受講申し込み用紙に必要事項を記入し、テキスト代三千円を添えて、九月十日までに消防署へ申し込んでください。

▼受講日

十月十五日、十六日

▼受講時間

午前九時～午後四時半

（受付：午前八時半～）

▼受講場所

秋田県正庁

秋田市山王四丁目一〇一

親子で参加しませんか

“この指止まれ”で学習会

文化的な催しを自由な発想で企画実践するグループ“この指止まれ”では、体験学習会の参加者を募集しています。

体験学習会は、わら細工、

まき割り、カマドでの炊飯、

こげの混ったオニギリなど、

今では珍しくなったことを

体験しようというものです。

この指止まれ“では「カチッと

スイッチをひねれば青い炎が

出るガスは、大変便利ですが、

本物の炎は赤々と燃えるもの

です。この本物の炎を中心と

して、子供たちに本物を体験

させましょう」と呼びかけています。

▼日時 九月三十日（日）

午前十時～

▼場所 雀館公園

▼対象

小学生までの子供と父兄

（必ず父兄同伴のこと）

▼申し込み先

電話54-2105 畠山

電話52-9534 熊谷

▼参加費

親子ペアで千円

交通安全の作品募集

▼募集種目

標語、作文（論文）、ポスター（図画）の三種類。

▼募集部門

小学校低学年の部

小学校高学年の部

中学校の部

高等学校、大学、一般の部

▼募集内容

標語：形式は自由

作文（論文）

小学校低学年は四百字詰原稿用紙三枚程度、小学校高

学年・中学生は四枚程度、

高校生・大学生・一般は八

枚程度。

▼ポスター（図画）

画用紙を使用し、小学生は

ハッキリ、その外は四ッ切

りの大きさ。

▼締め切り

九月二十日（消印有効）

▼送付先

秋田県生活環境部交通安全

対策課電話60-1245

秋田市山王四丁目一〇一

孫とステックを振る

三世代親善ゲートボール

三世代親善ゲートボール交流会南秋大会が、8月16日、17日、雀館運動公園グラウンドで郡内4町から25チームが参加して開催されました。

これは、五老連五城目地区連絡協議会と川端会館老人ボランティア互助会が、三世代の分離が急速に進みつつある中で、ゲートボールを通して世代間の交流を深めようと開いたものです。

当日、ステックを持つ選手のまなざしは真剣そのものでしたが、終始なごやかな雰囲気交流を深めていました。成績は次のとおりです。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1位 馬川Bチーム | 2位 馬川Aチーム |
| 3位 川原町チーム | 4位 湯ノ又チーム |
| 5位 天王町チーム | |



おじいちゃんたちとゲートボールを楽しむ



参列した遺族のみなさん

平和を誓い追悼式

遺族など320人が参列

町の戦没者追悼式は、8月24日、町民センターに遺族など関係者320人が参列して行われ、町内の戦没者537柱の前に、戦争犠牲者の冥福を祈りました。

式典では、町長の式辞などの後、遺子を代表して菊地卓弥さん（田町）が「のこされた母の長い苦労の厳しさ、辛く深い悲しみを思う時、二度とこのような戦争の災禍を繰り返してはなりません」と追悼の言葉を述べ、平和の誓いを新たにしていました。

お知らせ

弦楽器をひきませんか

室内管弦楽団の会員募集

五城目町民室内管弦楽団では、弦楽器を演奏する会員を募集しています。

この楽団は、本町の生涯教育の一環として組織されたもので、初心者には基本から指導します。練習は毎週水曜日午後七時から約二時間、広域体育館で行っています。

▽申し込み先

公民館 広嶋 司

新畑町 伊藤 鉄郎

電話 52-4411
52-3667

文化座「おりき」公演

入場券は芸文協事務局で

井川町芸術文化協会（会長、斎藤真人）の主催で劇団文化座の「おりき」が、九月十四日（金）午後七時から井川町公民館で公演されます。

「おりき」は、太平洋戦争末期の信州を舞台に、苦労の多い中で力強くさわやかに生きた一人の農婦の働く姿を感動的に描いたものです。

入場券は公民館内の五城目町芸術文化協会事務局でも取り扱っています。前売券は二千元。

労働学校講座を開校

労使関係者や一般の人たちを対象にした県労働学校講座が開かれます。参加申し込み方法など詳しいことは、役場

商工観光課（電話 52-2100）へお問い合わせください。

▽開催場所

秋田県生涯教育センター

電話 65-1171

▽日時

九月十一日～二十八日

午後六時～八時

職業訓練生の募集

秋田高等職業訓練校では、職業訓練生を募集しています。

▽受付期間

九月十七日～二十九日

▽募集科目

自動車整備技術科

洋裁技術科

建築技術科

▽入校資格

高等学校卒業生、または、これと同等以上の技能習得能力を有すると認められる人。

▽問い合わせ先

秋田高等職業訓練校

電話 45-1828

海上保安学生を募集

▽受付期間

九月十四日～二十七日

▽受験資格

昭和三十六年四月二日（大）学校学生は昭和三十九年四月（二日）以降に生まれた者

※募集要綱を希望の方は、返信用切手百七十円を同封し、次のところへ請求してください。

秋田市土崎港西一丁目7-35

秋田海上保安部

電話 45-1621

全町盆踊り大会

1点差で西野が5連覇

町内対抗



町内対抗 5連覇の西野町内会

五位 岩野(四三三)

湯ノ又(四三三)

七位 町村(四三二)

八位 中村(四二七)

九位 富田(四二三)

谷地中(四二三)

一位 岡本一区(四二〇)

二位 黒土(四一五)

三位 帝釈寺(四〇三)

四位 上高崎(四〇〇)

五位 上田町(三九五)

六位 台御(三九四)

七位 岡本二区(三九四)

八位 台御(三九四)

九位 台御(三九四)

一位 西野(四六四)

二位 下山内(四六三)

三位 上山内(四五八)

四位 浅見内(四五八)

五位 浅見内(四五八)

六位 浅見内(四五八)

七位 浅見内(四五八)

八位 浅見内(四五八)

九位 浅見内(四五八)

一位 浅見内(四五八)



職場対抗 1位の秋田ホーセ

蔵下(三九二) ①八田(三九〇) ②館越(三八五) ③中高崎(三八三) ④寺庭(三七九) ⑤希望ヶ丘(三七六) ⑥広ヶ野(三七六) ⑦古川町(三七〇) ⑧米沢町(三六七) ⑨浦横町(三六七) ⑩築地町(三六三) ⑪下高崎(三六一) ⑫中川原(三五六) ⑬畑町(三五二) ⑭昭辰町(三四六) ⑮新畑町(三三六) ⑯紀久栄町(三三六) ⑰一番町(三二四) ⑱矢場崎(三一九) ⑲雀館(三〇六)

職場対抗

一位 秋田ホーセ

二位 五城目町農協

三位 五城目信用金庫

努力賞 五城目電報電話局

努力賞 五城目町役場

一般団体

努力賞 気楽会

努力賞 五城目商工会青年部

一般個人

一位 永尾聖子外三名

二位 羽場早苗外一名

三位 佐々木茂敏

努力賞 秋山三男

青年団体

一位 内川青年会

二位 大川青年会

チョット・インタビュー

夏の甲子園で
がんばりました

全国高校野球選手権大会に出場した金足農産高校は、快進撃を続け、甲子園を沸かせました。

金農ナインは、県勢として大会最多の四勝を挙げ、昭和四十年の秋田高校以来、十九年ぶり四度目のベスト4入りを果たしました。準決勝では、PL学園にあと一歩というところで敗れましたが、全国屈指のチームと評判の高いPLを向こうに回し、堂々と自らの野球で挑んだ金農ナインの健闘に、県民はもとより、全国から惜しみ無い拍手が贈られました。

この金農ナインの主将であり捕手の長谷川選手と一塁手の鈴木選手、またナインを指揮した嶋崎監督は本町出身です。

嶋崎久美 監督(下樋口)



「選手たちが、甲子園の暑さに負けないように、サウナやグラウンドコートを着

ての練習を繰り返して体を鍛え、甲子園に出場しました」

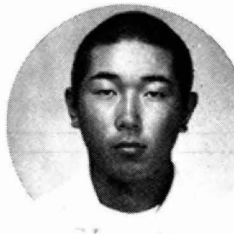
「試合中は、選手たちへのびのびプレイさせることを心掛けました」

「一回戦の名門広島商業を破った試合が、一番印象に残っています」

「甲子園に出場するだけでなく、甲子園で勝ち進むんだという気構えが、またベスト8に勝ち残れば国体に出場できる、出場しようという気持ち、よい結果を生んだと思います」

「選手たちにすばらしい思い出を作ってもらったと喜んでいきます」

長谷川 寿(米沢町)



一八八cm・七九Kg
捕手 右投右打

「甲子園には春にも出場したので、球場については特に感じるものはありませんでした」

「硬くならないように、リラックスして試合に臨み

ました」

「PL戦が印象に残っています。PLと対戦して、特に強いチームとは思いませんでした。PLの選手も普通の高校生であると思いました」

「とにかく甲子園は暑かったです」

※甲子園での成績 20打数 8安打 4打点

鈴木 善久(西野)



一七四cm・七二Kg
一塁手 右投右打

「大会中は、調子をくずさないように注意しました」

「やはり準決勝でPLと対戦したことが印象に残っています。ずば抜けて強いチームとは思いませんでした」

「甲子園は大変暑かったです」

※甲子園での成績 19打数 5安打 4打点

みんなの広場

善意銀行
(敬称略)

・七月二十三日
五千元 原田享一
(七月二十二日の安全運転講習会時における謝礼金を寄付したもの)

・八月一日
七千九十円
今町 山崎幸子
(納涼祭での収益金を寄付し

たもの)

・八月十一日
二万円 上山内 朝野信夫
(亡父忠治様の香典返しとして)

・八月十五日
四万一千六百三十七円
poor boys club 代表
松橋公寿
(八月十四日のバザーにおける収益金を寄付したもの)

・八月十七日

五万円 雀館 秋山昭夫
(亡妻美代様の香典返しとして)

・八月二十二日
二万円 小倉 佐藤勝治
(亡母キサ様の香典返しとして)

・八月二十三日
五万円 川原町 宮腰松夫
(亡母タキ様の香典返しとして)



7月26日、町民センターで開かれた生活学校で火葬場での返礼廃止について協議しました

生活学校は、健康で豊かな住みよい地域生活を築くための運動を推進し、身近な問題解決を主婦たちの力で推進している団体です。

すでに目新しい活動は、五城目、八郎潟駅構内の環境整備や、町内に三台あった有害図書自動販売機の撤廃運動を強力に進め、一台もなくなっ

斎場(火葬場)での返礼廃止にご協力を

五城目生活学校代表

本間 静江(館町)

たことなどがあげられます。現在には特に、他市町村ではほとんど見られない火葬場での返礼の廃止に取り組んでおります。すでに、畑町、中川原などでは会長さんをはじめ、各種団体の強力な呼びかけで率先して取り組み始めています。本当にありがたいことです。

ぜひ、他の町内(特に本町部)また、職場関係の家族の不幸なども含めて、この習慣を廃止し、生活改善の一端にしたいものと思います。

近日中に町内会長さんを訪問して、この主旨の徹底をお願いしたいと考えております。

毎月5日は「少年の日」



親子が互いに語る
明るい家庭

グラフでみる町の統計 ⑤

産業別就業人口

産業分類

▽ 第1次産業

農業
林業
水産

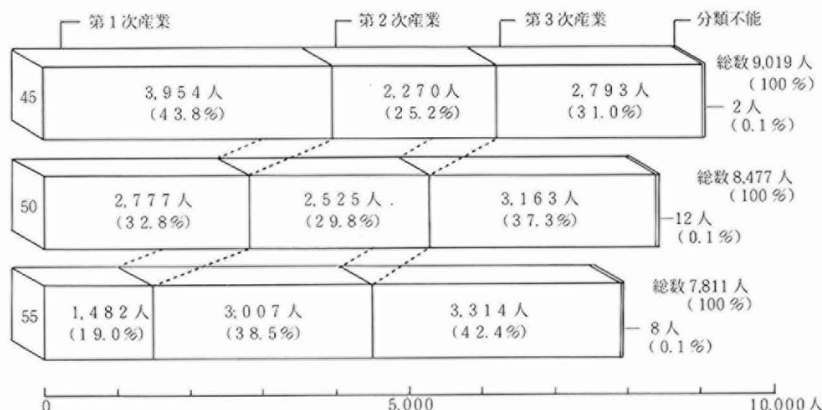
▽ 第2次産業

鉱業
建設業
製造業

▽ 第3次産業

卸・小売業
金融・保険業
不動産業
運輸・通信業
電気・ガス・水道・熱供給業
サービス業
公務

▽ 分類不能



※ 45年の構成比の計は分類不能を0.1%に切り上げているので100%にはならない。(他は四捨五入)

資料：国勢調査